|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | Ｂ．Ｃ．５世紀のアテネの哲学者で，無知の自覚から愛知の精神によって魂をより善いものにしようと説いた人物は誰か。 |  |
| 2 | 古代アテネの哲学者であるソクラテスは，自分が人間にとって一番大切なことについて知らないことを自覚していた。その意味を表す言葉は何か。 |  |
| 3 | 相手との対話により，真理に達するソクラテスが行った方法を何というか。 |  |
| 4 | 師であるソクラテスの課題を受け，普遍の真実在や国家のあり方などを説いた人物は誰か。 |  |
| 5 | アイディアの語源で，プラトンが永遠の真実在であり，個々の事物，事象の原型・理想であるとしたものは何か。 |  |
| 6 | 古代ギリシャで，「人間はポリス的（政治的・社会的）動物である」と述べた人物は誰か。 |  |
| 7 | 正邪を一律に判断するのではなく，個々の具体的状況にあわせて，何がもっともよいことかを個別に判断（発明）すべきとする立場を何というか。 |  |
| 8 | ユダヤ教やキリスト教，イスラーム（イスラーム教）などのように唯一の神を信仰する宗教を何というか。 |  |
| 9 | イスラエル人の民族的宗教で，キリスト教の母胎となった宗教は何か。 |  |
| 10 | イスラエル人を特別に選び，天や地をつくりあげた創造主であるユダヤ教の唯一神とは何か。 |  |
| 11 | ユダヤ教を母胎とし，西欧南部と南米のカトリック，西欧東部のギリシャ正教，西欧北西部と北米のプロテスタントと，多様化しつつ発展した宗教の総称は何か。 |  |
| 12 | ガリラヤ地方のナザレで成長した，キリスト教の開祖とは誰か。 |  |
| 13 | イスラーム（イスラーム教）の創始者は誰か。 |  |
| 14 | 天命などの信仰箇条である「六信」と，喜捨などの信仰行為である「五行」を教義の中核にしているイスラームでは，服従するべき唯一神を何と呼ぶか。 |  |
| 15 | イスラーム法（シャリーア）の規定に従い六信五行を守ることが義務付けられている，イスラーム共同体を構成する信者を何というか。 |  |
| 16 | ユダヤ教の指導者であるモーセが，出エジプトに際してシナイ山で神から授けられた，唯一神への信仰や偶像崇拝の禁止などの道徳的戒めを何というか。 |  |
| 17 | バラモン教における解脱を求める過程において体得がめざされた，宇宙の本質であるブラフマンと自己の本質であるアートマンが一体であるという境地を何というか。 |  |
| 18 | ゴータマ＝シッダッタを開祖とするインドの宗教は，スリランカと東南アジアの上座部，東アジアの大衆部，チベット密教に発展した。この宗教の総称は何か。 |  |
| 19 | 不死や永遠といった得られようのないものへの執着から生じる欲望や怒りといった感情を捨て去ることによって到達できる，苦しみから解き放たれた安らかな悟りの境地を何というか。 |  |
| 20 | 古代インドで成立したバラモン教では，人間は生まれ変わりながら無限に生死を繰り返す輪廻の苦しみにとらわれているとされた。こうした輪廻の循環そのものから解き放たれることを何というか。 |  |
| 21 | 解脱し涅槃に至るための正しい行いで，修行の基本となる八つの徳目を何というか。 |  |
| 22 | 仏教においては，苦しみが生じるのは人々が真理を知らないからであるとされた。こうした「真理」「法」を意味するサンスクリット語は何か。 |  |
| 23 | インドで成立した仏教では，中国や日本に伝播するなかでさまざまな宗派が形成された。その一つである密教の本尊とされ，宇宙の真理そのものであるとされる仏は何か。 |  |
| 24 | 名は丘きゅう，字は仲尼。周王を理想として社会秩序の回復をめざし，為政者の踏み行うべき道を説いた春秋時代の思想家は誰か。 |  |
| 25 | 「学びて時にこれを習う。亦また説よろこばしからずや（学ぶこと自体が喜びであり人生の充実をもたらす）」など，古代中国の孔子や弟子たちの言行をまとめたものは何か。 |  |
| 26 | 古代中国の春秋戦国時代後期において，周王朝が衰え旧来の価値観が混乱するなかで，国家や人間のあり方を論じるさまざまな思想家があらわれた。こうした思想家をまとめて何と呼ぶか。 |  |
| 27 | 儒家の孟子が提唱した，人間は生まれつき憐れみの心を有しており，善におもむこうとする存在であるとする考え方を何というか。 |  |
| 28 | 孔子が重視した仁（人を愛すること）や，それが行為として形をとった礼を身に備えた人物のことを何というか。 |  |
| 29 | 人為・作為をすて，天地全体の悠々とした運行のなかでありのままにまかせる，老子が人間の理想的なありようを形容した言葉は何か。 |  |
| 30 | ヘレニズム時代の代表的思想家で，人生の目的は快楽で，その充足こそ幸福であるとした人物は誰か。 |  |
| 31 | 古代ギリシャにおいて，神話的解釈を排し，客観的・普遍的な解釈で万物の根本原理を探求した人々を総称して何というか。 |  |
| 32 | イオニアのミレトスの人で，万物の根源（アルケー）は水であると主張した自然哲学の祖とされる人物は誰か。 |  |
| 33 | 数学者としても知られ，万物のアルケーを数であるとした哲学者は誰か。 |  |
| 34 | 万物のアルケーを火であるとし，事物の運動・変化に関心をはらった人物は誰か。 |  |
| 35 | 幸福とは自然（理性）と一致して生きることであり，動揺しない心（アパティア）を道徳の理想とした，禁欲主義を特徴とするストア派の創始者は誰か。 |  |
| 36 | ギリシャ語で“知恵者”を意味し，Ｂ．Ｃ．５世紀ごろ，アテネを中心に政治的知識や技術を教えた職業的教師の一団を何というか。 |  |
| 37 | アリストテレスが，共同体で生きるうえで欠かせないものとしてとくに重視した倫理的徳は何か。二つ答えよ。 |  |
| 38 | アリストテレスが，秩序やポリスの法を守るという観点から分類した正義を何というか。 |  |
| 39 | アリストテレスは，日常生活における公正の観点から分類した正義を何というか。 |  |
| 40 | 習性的徳を成立させる原理となるもので，例えば，臆病と無謀の間としての勇気のように，両極端を避けて中間を選ぶことを何というか。 |  |
| 41 | ユダヤ教（キリスト教）の聖典で，イエスの出現以前の古い契約の教えと民族の歴史をまとめたものは何か。 |  |
| 42 | イエスが身をもって示した神の「無償の愛」の一つで，「人にしてほしいと思うことは何でも，あなたがたも人にしなさい」という黄金律にも示されている教えは何か。 |  |
| 43 | 「心を尽くし，精神を尽くし，思いを尽くして，主なるあなたの神を愛せよ。」と，イエスにより述べられたこの愛は何か。 |  |
| 44 | 砂漠でイエスの声を聞き，キリスト教に回心し，のちにローマ帝国へこの宗教を伝道した人物は誰か。 |  |
| 45 | キリスト教で，イエスの説く神と人間とが交わした新しい契約のことで，この宗教の聖典とは何か。 |  |
| 46 | もともとは唯一神アッラーへの絶対的服従を意味する言葉であり，メッカの商人ムハンマドによって布教された一神教は何か。 |  |
| 47 | もともとは「油を注がれたもの」を意味するヘブライ語で，ユダヤ教・キリスト教において神の国を実現する救世主を意味する存在を何というか。 |  |
| 48 | ムハンマドがアッラーから受けた啓示，戒律，祭儀に関する規定，説教などを集めた114章からなるイスラーム教の中心聖典を何というか。 |  |
| 49 | イスラーム法に定められているムスリムの義務を総じて何というか。 |  |
| 50 | ４～５世紀のキリスト教の教父の一人で，『告白』『神の国』などを著し，のちの西欧の思想に大きな影響を与えた人物は誰か。 |  |
| 51 | 仏教の祖で，生死に関する本質的な苦しみを脱する方法を模索した末に悟りを開いた，インド北部の小国の王子は誰か。 |  |
| 52 | 仏陀が説いた，生きとし生けるものに対する親愛と憐れみの情を表す言葉は何か。 |  |
| 53 | 一切衆生の救済を目的として，おもに中国・日本など北方に伝わった仏教を何というか。 |  |
| 54 | 仏教において，この世界の苦しみについて，とくに生老病死（生まれること，老いること，病むこと，死ぬこと）を合わせて何というか。 |  |
| 55 | この世界の苦しみについて，愛別離苦く，怨憎会苦，求不得苦，五蘊盛苦の四つを生老病死に加えた八つの苦しみを何というか。 |  |
| 56 | 孔子の教えを中心とする中国の正統思想を何というか。 |  |
| 57 | 儒家と並び中国思想を代表し，人知や作為を否定してあるがままのあり方や生き方を説く学派は何か。 |  |
| 58 | 為政者が，仁の徳を修め，道徳と礼によって国を治めるという儒家の政治思想を何というか。 |  |
| 59 | 孟子の性善説の根幹をなす四端の一つで，他人の不幸を憐れむ，忍びないと思う心を何というか。 |  |
| 60 | 宋の時代，朱子（朱熹）が儒教に理気説を導入して形而上学に高め，日本でも室町時代から盛んになり，江戸時代には幕府の官学とされた学派は何か。 |  |
| 61 | 明の王陽明が陸象山の思想を継承し発展させた学問で，朱子学に対するものを何というか。 |  |
| 62 | 魯の隣国・鄒すうに生まれ，孔子の「仁」の思想を継承・発展させ，儒学を大成した人物は誰か。 |  |
| 63 | 孔子の思想の中心で，人間愛を意味し，その根本を家族の親愛の情とする心の望ましいあり方を何というか。 |  |
| 64 | 孔子の中心思想である仁を行為として示す形のことを何というか。 |  |
| 65 | 春秋時代の思想家とされる道家の祖は誰か。 |  |
| 66 | 仏教における，この世は永遠不変の満足が得られない，苦しみに満ちた世界であるとする考え方を何というか。 |  |
| 67 | 万物のアルケーを土・水・火・空気の四つの元素であるとした人物は誰か。 |  |
| 68 | 万物はかつて混然一体であったが，知性によって分離したと主張した人物は誰か。 |  |
| 69 | 万物のアルケーを原子（アトム）であるとし，その組み合わせや配置により，万物は形成されるとした人物は誰か。 |  |
| 70 | Ｂ．Ｃ．５世紀ころに活躍したソフィストで，「人間は万物の尺度である」と相対主義を唱え，個々人の主観を尊重した人物は誰か。 |  |
| 71 | プロタゴラスと並ぶソフィストで，弁論術の教師として真理の認識について，懐疑的な立場をとった人物は誰か。 |  |
| 72 | 古代ギリシャの哲学者ソクラテスは「善く生きる」ことを重視した。人が善や正を真に知ることにより実現される，魂のすぐれたあり方をギリシャ語で何というか。 |  |
| 73 | アリストテレスが知性的徳と区別した徳で，感情・欲望にかかわり，行為の反復によって得られる徳を何というか。 |  |
| 74 | アリストテレスが分類した正義のうちの一つで，当事者の能力や功績によって，財貨などを分け与えることを何というか。 |  |
| 75 | 配分的正義に対し，各人の能力・功績などにかかわらず，利害や損得を平等に調和することを何というか。 |  |
| 76 | 願望がみたされなかったり，生きるうえで困難な状況に直面した際，不安や絶望の解消を図って，神や仏といった超越的な存在に祈ることで心の安らぎや希望を見出そうとする人間の営みを何というか。 |  |
| 77 | ユダヤ教で，神が民族に与えた宗教と生活のうえでの命令を何というか。 |  |
| 78 | 祭式信仰を重んじ，カースト制を規定した古代インドの宗教を何というか。 |  |
| 79 | 仏陀が示した，すべての事物はそれ自体では存在せず，相互に依存しており（諸法無我），絶えず変化し続けている（諸行無常）という考えに特徴づけられる真理を何というか。 |  |
| 80 | 仏教における八つの大きな苦しみの一つで，愛する人と別れる苦しみを何というか。 |  |
| 81 | 自己の悟りを目的として，おもにミャンマー（ビルマ）・タイなど南方に伝わった仏教を何というか。 |  |
| 82 | 孔子の「礼」の思想を継承・発展させ，社会の秩序を維持するために，「仁」の外的規範である「礼」を守ることが必要であると主張したのは誰か。 |  |
| 83 | 儒家の荀子が提唱した，人間はそのまま放っておくと欲望にしたがい悪に向かってしまうため，社会のしくみによって礼を身につけ矯正すべきであるとする考え方を何というか。 |  |
| 84 | 徳目（道徳の基準）の一つで，正しい道の実践行動や自然の理にかなうことを何というか。 |  |
| 85 | 是非の心（善悪の区別）を拡充し，高めていくことで到達しうる徳は何か。 |  |
| 86 | 戦国時代の宋の思想家で，老子の思想を継承し，万物には区別・差別などはなく，すべてがみな等しいという万物斉同を提唱した人物は誰か。 |  |
| 87 | 諸子百家の一人で名は翟，戦国時代の人。別愛（差別的な愛）を否定し，兼愛（万民平等な愛）を提唱した墨家の祖は誰か。 |  |